

令和6（2024）年度

事業報告書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

第1部 学校法人の概要

第2部 事業の概要

第3部 財務の概要

学校法人 淳心学園

目 次

第1部 学校法人の概要

1. 学校法人の基本情報	 1
(1) 法人の名称	
(2) 法人が設置する学校	
(3) 学校法人の理念	
(4) 設置する学校の建学の精神及び教育理念	
1) 北海道千歳リハビリテーション大学の建学の精神及び教育理念	
2) 札幌わかくさ幼稚園の教育目標及び教育方針	
2. 学校法人の沿革	 3
3. 設置する学校の在籍学生数・園児数	 3
(1) 北海道千歳リハビリテーション大学	
(2) 札幌わかくさ幼稚園	
4. 設置する学校の収容定員充足率	 4
(1) 北海道千歳リハビリテーション大学	
(2) 札幌わかくさ幼稚園	
5. 設置する学校の卒業生数・卒園児数	 4
(1) 北海道千歳リハビリテーション大学	
(2) 札幌わかくさ幼稚園	
6. 役員の概要	 5
7. 評議員の概要	 6
8. 責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況	 7
9. 教職員の概要	 7
(1) 法人本部	
(2) 北海道千歳リハビリテーション大学	
(3) 札幌わかくさ幼稚園	
10. 校地、校舎の状況	 8
(1) 北海道千歳リハビリテーション大学	
(2) 札幌わかくさ幼稚園	

第2部 事業の概要

I. 法人本部・法人本部事務局

1. 法人の基本となる組織	 9
2. 令和6年度の主な事業の概要	 9
3. その他の活動	13

II. 北海道千歳リハビリテーション大学

1. 主な教育・研究の概要	14
2. 令和7年度入学者選抜試験結果	18
3. その他	21

Ⅲ. 札幌わかくさ幼稚園	
1. 設置の目的	……22
2. 基本となる組織	……22
3. 令和6年度の主な事業の概要	……22

第3部 財務の概要

I. 財産目録	……28
Ⅱ. 決算の概要	
1. 資金収支計算書の状況と経年比較	……29
2. 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較	……30
3. 事業活動収支計算書の状況と経年比較	……31
4. 貸借対照表の状況と経年比較	……32
5. 財務比率の経年比較	……33
(付) 監査報告書	

第1部 学校法人の概要

1. 学校法人の基本情報

(1) 法人の名称

学校法人 淳心学園

理事長 松木 謙公

《法人本部》

i) 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23

ii) 電話 011-222-0303 FAX 011-222-0321

iii) URL <https://www.junshin-gakuen.ac.jp/>

(2) 法人が設置する学校

1) 北海道千歳リハビリテーション大学 健康科学部 リハビリテーション学科

学長 伊藤 俊一

i) 〒066-0055 千歳市里美2丁目10番

ii) 電話 0123-28-5331 FAX 0123-28-5335

iii) URL <https://www.chitose-reha.ac.jp/>

2) 札幌わかくさ幼稚園

園長 関 亜美

i) 〒005-0034 札幌市南区南34条西10丁目3-13

ii) 電話 011-582-2111 FAX 011-582-0993

iii) URL <https://sapporo-wakakusa.jp/>

(3) 学校法人の理念

当法人は、北海道千歳市に「北海道千歳リハビリテーション大学」（平成29年4月開学）及び札幌市南区に「札幌わかくさ幼稚園」を運営し、質の高い教育を提供するよう、職員が一丸となり取り組んでいる。

教育理念 私たちは、伝統と文化を尊び、教育基本法及び学校教育法に基づき知性と専門性を養う学校教育を行い、地域社会の発展に寄与する人間を育成することを目的とする。

(4) 設置する学校の建学の精神及び教育理念

1) 北海道千歳リハビリテーション大学

建学の精神 医療専門職教育を通じて真の人間を育成する。

「生命の尊厳」を基調とする医療専門職としての使命感を自覚し、社会に奉仕し得る人間の育成ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていくことのできる人材を養成する。

教育理念 本学が育成する理学療法士・作業療法士は、保健・医療・福祉・介護の発展に尽くし、地域貢献に喜びを感じられる社会奉仕の精神、生命の尊厳を理解する個人尊重の精神など、医療現場で強く求められる高度な専門的技術を備え、加えて豊かな人間性の涵養をめざしている。

また、医療専門職は、広い視野と学問的探求心で教養を深め、自分磨きを続

けることは使命であり大学を卒業してからも学びは続く。本学は生涯活躍できる環境づくりも責務と考え、第一線で活躍する卒業生の成長も支えている。

2) 札幌わかくさ幼稚園

子ども・子育て支援新制度において、施設型幼稚園とし自然環境を生かしたわかくさ教育の充実と、職員の待遇改善及び能力・資質向上に努める。

- 教育目標
- ・失敗を恐れず物事に取り組み、創造し最後までやり遂げる意欲・態度・心情を培う。
 - ・自分の考えを素直に表現できるよう、豊かな感性を培う。
 - ・思いやりと奉仕の心を培う。
 - ・健康な体を培う。

- 教育方針
- 自由保育の理念に学び、遊びを通して生理的・心理的機能を育成するため、地域の実態（環境・子ども）に基づいた自由保育と集団・年齢別活動が調和した保育を行う。
- ・ゆったりとした時の流れの中でのびのびと保育を行う。
 - ・自動教育（自己教育）によって個性を伸ばす。
 - ・集団・年齢別行動によって社会的協調を育てる。

わかくさの保育では、自由保育を中心軸にしてその子のペースを受け止め、個性を伸ばし、自立感を育てよう工夫している。自己中心児になることを防ぐために、1日のプログラムの中に集団活動（体操・年齢別活動など）があり、その他、お出かけの日には近くの公園や自然の中に入って友達と遊んだり、各行事を通して集団活動が行われ、社会協調を育てるようにしてバランスをとっている。危険なこと、してはいけないこと、情緒の安定にかかわること、基本的な行動や人間関係に関わることは随時指導している。

幼児の発達課題は、自立感を身に付けることであり、これが小学校の活動性や自発性につながっていく。幼児がしたくないことを無理にさせようとしても、身に付くものではない。幼児が「自分で、自分が、自分から」活動する環境づくりの工夫と、個人記録に基づく働きかけを、わかくさの保育では大切にしている。

2. 学校法人の沿革

1966年	(昭和41年)	11月	学校法人 光華学園として設立 幼稚園名：光華幼稚園としてスタート
1983年	(昭和58年)	3月	法人名変更 学校法人 中根学園となる 幼稚園名：札幌わかさ幼稚園となる
1985年	(昭和60年)	12月	法人名変更 学校法人 淳心学園となる
1995年	(平成7年)	4月	千歳市に北海道リハビリテーション学院を開学 3年制の理学療法学科設置 定員40名
1998年	(平成10年)	4月	作業療法学科を設置 定員20名
2000年	(平成12年)	4月	理学療法学科・作業療法学科に夜間部を増設 定員各30名 ※平成20年3月末で廃止
2001年	(平成13年)	4月	札幌わかさ幼稚園の定員を105名に変更 (※変更前120名)
2002年	(平成14年)	4月	作業療法学科(昼間)の定員を30名に変更
2005年	(平成17年)	4月	理学療法学科・作業療法学科の定員を各60名に変更
2007年	(平成19年)	4月	理学療法学科の定員を80名に増員
2009年	(平成21年)	4月	作業療法学科の定員を40名に減員
2015年	(平成27年)	10月	文部科学省への専門学校の大学化の第1回大学設置申請及び寄附行為変更申請が受理される
2016年	(平成28年)	8月	北海道千歳リハビリテーション大学の設置が認可となる。 学部・学科等名；健康科学部 リハビリテーション学科 ・理学療法学専攻 入学定員80人 収容定員320人 ・作業療法学専攻 入学定員30人 収容定員120人
2017年	(平成29年)	4月	北海道千歳リハビリテーション学院 平成29年度新規学生募集停止
2017年	(平成29年)	4月	北海道千歳リハビリテーション大学開学(4月1日)
2019年	(平成31年)	3月	北海道千歳リハビリテーション学院廃止(3月31日)

3. 設置する学校の在籍学生数・園児数

(1) 北海道千歳リハビリテーション大学

令和6年5月1日現在

学部・学科(専攻)	入学定員	収容定員	現 員 数				合計
			1年次	2年次	3年次	4年次	
健康科学部 リハビリテーション学科	110	440	111	94	95	96	396
理学療法学専攻	80	320	91	75	74	71	311
作業療法学専攻	30	120	20	19	21	25	85

(2) 札幌わかさ幼稚園

令和6年5月1日現在

区 分	認可定員	学級数	現 員 数				合計
			満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
幼稚園	105	3	—	18	35	28	81

4. 設置する学校の収容定員充足率（各年度5月1日現在）

（1）北海道千歳リハビリテーション大学

学部・学科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
健康科学部 リハビリテーション学科	98.8%	98.9%	102.5%	104.7%	96.8%	90.0%

（2）札幌わかさ幼稚園

学 校 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
札幌わかさ幼稚園	89.5%	95.2%	86.7%	87.6%	86.7%	77.1%

5. 設置する学校の卒業者数・卒園児数（各年度3月31日時点）

（1）北海道千歳リハビリテーション大学

学部・学科	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	総 計
健康科学部 リハビリテー ション学科	104 名 (PT 83 名) (OT 21 名)	85 名 (PT 64 名) (OT 21 名)	109 名 (PT 78 名) (OT 31 名)	104 名 (PT 81 名) (OT 23 名)	91 名 (PT 66 名) (OT 25 名)	493 名 (PT 372 名) (OT 121 名)

（2）札幌わかさ幼稚園

学 校 名	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	総 計※
札幌わかさ 幼稚園	38 名	29 名	44 名	31 名	30 名	1,527 名

※卒園児数の総計は、学校法人淳心学園札幌わかさ幼稚園となって以降の合計人数

6. 役員の概要（令和6年5月1日現在）

○定 数 理事 10 人以上 14 人以内・監事 2 人

○現員数 理事 12 人・監事 2 人

職 名	法人における勤務状況	氏 名	任期		寄附行為における選任区分	職 業
			始 期	終 期		
理事長	非常勤	松木 謙公	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	代表取締役社長
副理事長	常勤	飯塚 雅美	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 4 号	
理 事	常勤	伊藤 俊一	(学長在任中)		6 条 1 項 1 号	学長
理 事	常勤	関 亜美	(園長在任中)		6 条 1 項 2 号	園長
理 事	非常勤	大久保 篤	R5. 6. 1	R8. 5. 31	6 条 1 項 5 号	代表取締役会長
理 事	非常勤	及川 泉	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	代表取締役社長
理 事	非常勤	中尾 淳子	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	
理 事	非常勤	川原 尚行	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	NPO 法人理事長
理 事	非常勤	佐藤 正俊	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	医療法人理事長
理 事	非常勤	沼田 常好	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	代表取締役
理 事	非常勤	藏 光夫	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 4 号	
理 事	常勤	敦賀 秀生	R5. 4. 1	R8. 3. 31	6 条 1 項 5 号	法人本部長
監 事	常勤	佐藤 進一	R5. 4. 1	R8. 3. 31	7 条 1 項	
監 事	非常勤	名越 隆雄	R5. 4. 1	R8. 3. 31	7 条 1 項	税理士

（参考）学校法人淳心学園 寄附行為（抜粋）

（理事の選任）

第6条 理事は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学長
- (2) 園長
- (3) 法人本部長
- (4) 評議員のうちから評議員会において選任した者 2 人
- (5) 学識経験者のうちから理事会において選任した者 5 人以上 9 人以内

（監事の選任）

第7条 監事は、この法人の理事、職員（学長、園長、教員その他の職員を含む。以下同じ。）、評議員又は役員の配偶者若しくは三親等以内の親族以外の者であって理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て、理事長が選任する。

7. 評議員の概要（令和6年5月1日現在）

○定 数：21人以上29人以内（理事の定数の2倍を超える員数）

○現員数：27人

職 名	法人における勤務状況	氏 名	任期		寄附行為における選任区分	職 業
			始 期	終 期		
評議員	非常勤	松木 謙公	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	理事長
評議員	常勤	飯塚 雅美	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	副理事長
評議員	常勤	伊藤 俊一	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	学長
評議員	常勤	関 亜美	R6.4.1	R8.3.31	26条1項1号	園長
評議員	非常勤	大久保 篤	R5.4.1	R8.5.31	26条1項4号	代表取締役会長
評議員	非常勤	及川 泉	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	代表取締役社長
評議員	非常勤	中尾 淳子	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	
評議員	非常勤	川原 尚行	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	NPO 法人理事長
評議員	非常勤	佐藤 正俊	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	医療法人理事長
評議員	非常勤	沼田 常好	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	代表取締役
評議員	非常勤	藏 光夫	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	
評議員	常勤	敦賀 秀生	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	法人本部長
評議員	常勤	信太 雅洋	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	法人職員
評議員	常勤	山中 正紀	R5.4.1	R8.3.31	26条1項1号	法人職員
評議員	常勤	小林 巧	R5.4.1	R8.3.31	26条1項1号	法人職員
評議員	常勤	久保 勝幸	R5.4.1	R8.3.31	26条1項1号	法人職員
評議員	常勤	隈元 庸夫	R5.6.1	R8.3.31	26条1項1号	法人職員
評議員	常勤	水野 仁	R6.4.1	R8.3.31	26条1項1号	法人職員
評議員	常勤	若狹 実香	R5.4.1	R8.3.31	26条1項1号	法人職員
評議員	非常勤	山本 洋平	R5.4.1	R8.3.31	26条1項2号	病院職員
評議員	非常勤	水谷 良二	R5.4.1	R8.3.31	26条1項2号	病院職員
評議員	非常勤	塩原 貴之	R5.4.1	R8.3.31	26条1項2号	病院職員
評議員	非常勤	横濱 響	R6.4.1	R8.3.31	26条1項2号	病院職員
評議員	非常勤	村川 紫乃	R5.4.1	R8.3.31	26条1項3号	
評議員	非常勤	永田沙希子	R5.4.1	R8.3.31	26条1項3号	
評議員	非常勤	高桑あゆみ	R5.4.1	R8.3.31	26条1項3号	
評議員	非常勤	高橋 司	R5.4.1	R8.3.31	26条1項4号	弁護士

（参考）学校法人淳心学園 寄附行為（抜粋）

（評議員の選任）

第26条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) この法人の職員で理事会において推せんされた者のうちから、評議員会において選任した者 7人
- (2) この法人の設置した又は設置する学校を卒業した者で年齢25歳以上のもののうちから、理事会において選任した者 4人
- (3) この法人が設置する学校の在学生又は在園児の保護者のうちから、理事会において選任した者 3人
- (4) 学識経験者のうちから、理事会において選任した者 7人以上15人以内

8. 責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

令和2年度から施行された改正私立学校法により、役員の損害賠償責任が明確化されたことを受け、令和元年度に次の準備を行った。

(1) 責任免除・責任限定契約

令和元年12月21日（土）開催の令和元年度第5回理事会において、非常勤理事の責任限定契約における責任限定額を、非常勤理事の年間報酬額と同額の120,000円とした。これにより、非常勤理事の損害賠償責任の限度額は、責任限定額と年間役員報酬額の2倍のどちらか高い額となることから、240,000円が非常勤理事の損害賠償責任限度額となり、これを超える損害については免除されることとなった。

(2) 補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

役員の学校法人に対する損害賠償責任及び第三者に損害を与えた時の補償が明確化されたことに伴う役員賠償責任保険への加入については、令和2年2月29日（土）開催の令和元年度第7回理事会において審議し、当法人の規模等を勘案し、私大協役員賠償責任保険制度における3億円プラン（年額保険料112,000円）に加入することを決定した。

また、年額保険料112,000円のうち、比率は幹事会社の東京海上日動火災の取り決めによるものであるが、法人が95%の106,400円を負担、役員が5%の5,600円を按分負担とすることとした。ただし令和3年以降については法人が100%を負担している。

9. 教職員の概要（令和6年5月1日現在）

(1) 法人本部

事務職員
4名

(2) 北海道千歳リハビリテーション大学

1) 教員

	教 授	准教授	講 師		助 教	助 手	計
			常勤	非常勤			
共通教育	2	1	2	16	1		22
理学療法学専攻	8	1	2	5	2	1	19
作業療法学専攻	4		2	13	2		21
計	14	2	6	34	5	1	62

2) 事務局

	局長	次長	課長	補佐	専門員	係長	主任	係員	技術	非常勤	計
事 務 局	1										1
総務課				1		2	1		1		5
学務課			1	1			1	2			5
入試広報室				1	室長 1	1				1	5
					補佐 1						
計	1	0	1	3	2	3	2	2	1	1	16

(3) 札幌わかさ幼稚園

園長	教 諭					事務室			計
	教頭	主任	副主任	常勤	非常勤	事務	技術	非常勤	
1	1	1	2	3	3	1	2	2	16

10. 校地、校舎の状況

(1) 北海道千歳リハビリテーション大学（千歳市里美2丁目10番）

校地 4,922.03 m²

校舎 7,742.22 m²

体育館（千歳市泉沢1007番279）

校地 6,375.04 m²

校舎 1,368.40 m²

(2) 札幌わかさ幼稚園（札幌市南区南34条西10丁目3-13）

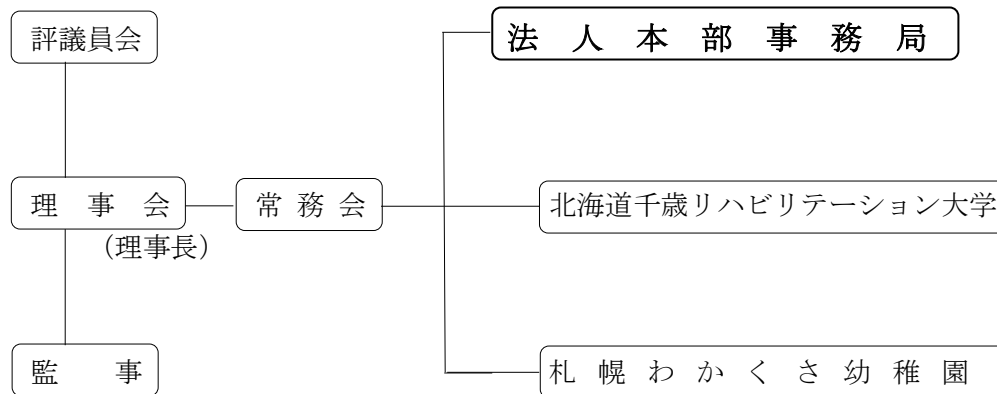
園地 1,605.07 m²

園舎 1,028.43 m²

第2部 事業の概要

I. 法人本部・法人本部事務局

1. 法人の基本となる組織



2. 令和6年度の主な事業の概要

私立学校法の改正・施行に伴い、中期目標・中期計画の作成が義務付けられ、第1期(5ヵ年)中期目標・中期計画の5年目がスタートした。令和6年度の主な事業計画を次のとおりとした。

- ①ガバナンス強化への取組み
- ②透明性と情報公開への取組み
- ③公共性の強化への取組み
- ④財務改革への取組み
- ⑤有為な人材の確保
- ⑥職場環境の改善
- ⑦幼稚園の環境整備

(1) 令和6年度の主な事業の取り組み

1) ガバナンス強化への取り組み推進

学校法人淳心学園は、平成29年4月1日に大学が開学し、平成31年3月31日に専門学校である北海道千歳リハビリテーション学院が廃止され、翌日の4月1日からは大学、幼稚園を設置する学校法人となった。

令和6年度は、非常勤である理事長の補佐体制として、常勤の副理事長及び常務理事として学長、園長に法人本部長を加えた3名の常務理事を置き、法人本部長は法人本部担当理事、大学長は大学担当理事、幼稚園長は幼稚園担当理事として各役割を明確化し、理事長を補佐することにより、理事長、副理事長、常務理事が一体となって、法人のガバナンスの強化を行っている。

また、上記の体制に、大学副学長及び大学事務局長が加わり、より一層強固に、法人の管理運営に関して、協力して理事長を補佐する体制を構築し、理事長を中心に業務執行理事が主体となり法人運営を行った。

・理事会・評議員会

大学の開学（平成 29 年 4 月）を機会に、非常勤理事（外部理事）を 5 名増員し、理事の外部比率を引き上げ、理事会の経営・監督機能の向上を図った。また、理事会に「学長選任権」、「予算権」、「組織の変更に関する権限」を付与し、理事会機能の強化を図っている。

令和 6 年度は、理事会は 8 回、評議員会は 7 回の開催とほぼ例年どおりの回数の開催となった。理事会で決定すべき議案は、全て理事会で審議し、法人運営に支障が出ない様に処理した。

・監事機能の強化

大学を有する法人に相応しい監事監査を行うために、監事監査規程及び監事監査基準を制定し、監事が行う業務監査及び会計監査に規定上の根拠を与えるとともに、監事の業務内容について明文化している。

これにより、常勤監事は、法人本部が行う理事長打合せに陪席し、必要に応じて意見を述べるなど、監事機能が強化されている。また、法人本部で開催される事務打合せ会・検討会にも参加して意見を述べるのを始め、大学で開催される教授会にも陪席し、法人が行う業務（会計業務を含む。）が、寄附行為始め関係法令・規程を遵守し、適正に執行されているかどうかの検証を行っている。

また、令和 2 年度施行の改正私立学校法に合わせ寄附行為を改正し、監事の職務に理事の業務執行の状況を監査すること等を加えるなど、監事機能をさらに強化した。

・常務会

理事長支援体制の強化と迅速な法人の意思決定を図る目的で設置した常務会（理事長、副理事長、3 名の常務理事、大学副学長の計 6 名で構成）は、令和 6 年度は 7 回開催した。

常務会は、理事会の委任に基づき学園の経営に関する重要な事項について審議し、理事長の支援体制と迅速な意思決定を行っている。

2) 透明性と情報公開への取組み

当法人は、法人本部事務局、大学、幼稚園と 3 つの部門が距離的に離れていることから、より一層連絡を取り合うことを心掛け、大学及び幼稚園には、前年度に引き続き、法人本部長が週に何度も出向き、また、本部職員も必要に応じて出向くなどして、情報・課題の共通認識を持つように、努めている。

また、常務会は常に大学で開催し、理事長を始め関係者が大学に集まることとして、距離を感じさせない経営を心掛けた。

さらに、法人のホームページの充実を図り、法人の概要、各年度事業報告書及び財務状況報告を掲載し、情報公開を推進している。

3) 公共性の強化への取組み

教育を担う学校法人としての社会的責任への取組み、財務情報等の公表をはじめとするステークホルダーへの説明責任、管理運営面の透明性などに関する取組みを、引き続き推進した。

・コンプライアンスの強化

「学校法人淳心学園コンプライアンス基本規程」において、コンプライアンスに関し基本となる事項を定め、公平公正な学園運営及び学園の社会的信頼維持に資することとした。

これにより、役職員は、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観をもって行動することが義務付けられた。

	担当者	担当する内容
最高責任者	理事長	コンプライアンスの維持及び推進等に係る最終的な決定を行う
総括責任者	副理事長	最高責任者の命を受け、コンプライアンスの維持及び推進等について総括を行う。
推進責任者	各部局の長	総括責任者の指示に基づき、自部局のコンプライアンスの維持及び推進等に努める。

また、「学校法人淳心学園公益通報の処理及び公益通報者の保護等に関する規程」により、公益通報窓口を設置するとともに、通報者が不利益な取扱いを受けることが無いようにその保護に努める等、引き続きその体制の維持に努めた。

4) 財務改革への取組み

財務内容の強化への取組みと健全性の維持に、引き続き努めた。

また、私学事業団経営判断指数や外部評価機関の経営判断情報の活用等、財務健全性を長期的視点で保持して行く組織力の涵養を図る取り組みについても、検討を進めている。

開学以来続く基本金組入前当年度収支差額の赤字解消に取り組み、令和10年度には財政が黒字に転じる財政5ヶ年計画を進めている。

5) 有為な人材の確保

法人職員人事配置を改善するため、まず法人本部事務局を手始めに、令和3年5月で退職する職員の補充として、公募により職員を募集し、応募者に対し面接を行い、その中から若手職員を採用した。なお、令和6年度は法人本部事務局での職員の採用はなかった。

6) 職場環境の改善

職員の福利厚生面で改善を行い、働きやすい環境の整備を行っている。

- ① 労働時間の短縮
- ② 子どもの介護休暇の見直し
- ③ 諸手当の見直し

7) 幼稚園の環境整備

園舎の老朽化に伴いリノベーション等の計画をしている。

(2) 理事会・評議員会及び常務会開催状況

1) 理事会

令和6年度理事会は、寄附行為第19条第11項に定める「理事会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。」に則り、定足数を判断した。

回	開催日時	①定数12人（定足数7人） 出席数・書面表決書数・欠席数	監事 2人
1	5月25日(土) 14:46	出席7人 書面表決書5人 欠席0人	2人
2	5月25日(土) 16:24	出席7人 書面表決書5人 欠席0人	2人
3	6月29日(土) 14:25	出席5人 書面表決書7人 欠席0人	1人
4	8月24日(土) 15:38	出席7人 書面表決書5人 欠席0人	2人
5	10月20日(日) 15:52	出席5人 書面表決書7人 欠席0人	1人
6	11月23日(土) 16:25	出席7人 書面表決書5人 欠席0人	1人
7	1月25日(土) 15:48	出席7人 書面表決書5人 欠席0人	2人
8	3月29日(土) 15:48	出席7人 書面表決書5人 欠席0人	1人

2) 評議員会

令和6年度評議員会も、寄附行為第22条第9項に定める「評議員会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。」に則り、定足数を判断した。

回	開催日時	①定数27人（定足数15人） 出席数・書面表決書提出数・欠席数	監事 2人
1	5月25日(土) 14:30	出席16人 書面表決書11人 欠席0人	2人
2	5月25日(土) 16:10	出席22人 書面表決書5人 欠席0人	2人
3	8月24日(土) 14:30	出席16人 書面表決書11人 欠席0人	2人
4	10月20日(日) 14:30	出席15人 書面表決書12人 欠席0人	1人
5	11月23日(土) 14:32	出席18人 書面表決書9人 欠席0人	1人
6	1月25日(土) 14:39	出席20人 書面表決書7人 欠席0人	2人
7	3月29日(土) 14:30	出席20人 書面表決書7人 欠席0人	1人

3) 常務会

回	開催日時	回	開催日時
1	5月10日(金) 15:30	5	11月8日(金) 15:30
2	6月14日(金) 15:50	6	1月10日(金) 15:30
3	8月9日(金) 15:26	7	3月12日(水) 15:50
4	10月8日(金) 15:25		

3. その他の活動

法人本部における諸活動のうち、令和6年度に限定される活動措置は、次のとおりである。

1) 寄附行為の改正について

私立学校法改正に伴い、寄附行為の変更を文部科学省へ申請し、令和7年3月13日付けで文部科学大臣の認可となった。なお、変更後の寄附行為は令和7年4月1日より施行する。

2) 幼稚園の利用定員変更について

新型コロナウイルス感染症発生以降、少子化傾向と相まって本園の新入園児数が減少傾向にあり、財務面で園の運営に支障をきたす懸念があることから、札幌市子ども未来局に定員変更(減員)を実施した。在園児数の推移をみると、令和3年度から6年度に至るまで現在105名定員のところ定員割れしている状況で、未来局の方からも園児数を見る限り90名定員への変更が適切という風に説明を受けている。そのため現在105名定員のところを90名定員へと変更して、各学年ごとの人数も35名から30名へと変更した。新定員の適用時期については、令和7年1月の第4四半期補助金交付時期から適用。

3) 幼稚園のエアコン設置工事について

例年7月の一番暑い時期にお泊り会があるため、それに合わせてエアコンの設置工事を計画したが、文部科学省へ提出した私立学校施設整備費補助金申請書の承認が中々おりなかった。このためお泊り会には間に合わず、結局8月末の完成となった。

4) 顧問の採用について

角谷毅前幼稚園長が令和6年3月31日をもって退職をされたことから、当学校法人の非常勤顧問として就任していただいた。新園長体制のもと、わかくさ幼稚園の運営体制に落ち着きが見えるまで、引き続き園長・教頭の指導を依頼した。

Ⅱ. 北海道千歳リハビリテーション大学

1. 主な教育・研究の概要

北海道千歳リハビリテーション大学は、2017 年（平成 29 年）4 月に開学した理学療法士（Physical Therapist）、作業療法士（Occupational Therapist）を育成する大学である。

学校法人淳心学園は、大学化の意義として、高い専門的知識と技術を身につけた PT、OT を養成するだけでなく、保健衛生分野の学術の中心として、大学における 4 年間の教育を通じて、「生命の尊厳」を基調とする医療専門職としての使命感を自覚し、社会に奉仕し得る人間の育成、並びに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていくことのできる人材の養成を通じて、我が国の保健医療の発展と国民の健康増進に貢献することをあげた。

この大学の目的に記載した「我が国の保健医療の発展と国民の健康増進に貢献する」ことを実質化するため、本学卒業生独自のプラスワンの能力として「障がい予防リハビリテーション」という、国民の健康増進に寄与する知識と技能を 4 年間通じて学べる教育課程を編成すると共に、全国有数の予防関連の研究者を教員組織に配置した。

これは、同系他大学との差別化を図るだけでなく、本学の特色として学校教育法第 83 条に規定する「大学の成果を広く社会に提供することにより社会の発展に寄与する」ことに繋がる。

北海道千歳リハビリテーション大学は、社会に出てからも常に新しい技術や知識が必要となる PT、OT にとって、「生涯の学び舎」となり、地域住民にとっては健康を支える存在として尊敬される大学となるよう、開学からこれまで努力を傾注してきた。特色としている地域住民、特に高齢者の「健康増進・障がい予防に関する教育研究」は、大学設置認可申請書にも書き込み開学許可後、年間 42 兆円強（その 70%が 60 歳以上）という我が国の医療費を削減する一助として、リハビリテーションの分野から貢献することを念頭に活動を行っている。

平成 28 年の認可時に、文部科学省から「設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から 4 年生大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。」との留意事項を頂いている。

北海道千歳リハビリテーション大学は、留意事項を重く受け止め、基本理念である「生命の尊厳」を基調とする医療専門職育成の高等教育機関として、3 ポリシー（学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー））に基づき、その時代に必要な教養と人間力を根底におく教育により、社会に奉仕しうる人材の育成、並びに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていくことのできる人材の育成に取り組んでいる。

学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

専攻別の学位授与に関する方針

【理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー】

健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻は、所定の期間在学して卒業に必要な単位を修得した者に、学士（理学療法学）の学位を授与します。

（１）多様性の理解

適切な理学療法を提供するために、対象者やその家族、保健・医療・福祉関係者一人ひとりの背景や価値観の多様性を尊重することができる。

（２）コミュニケーション力

対象者やその家族、保健・医療・福祉関係者の理解に努め、自らの考えを適切に伝えることができる。

（３）専門知識と技術の活用

理学療法士として必要な専門知識と技術を習得し、安全に実施、活用することができる。

（４）課題発見・解決能力

現状を分析し、目的や課題を明らかにした上で、科学的根拠と論理的思考をもって解決に向けて柔軟に取り組むことができる。

（５）能動的に学び続ける力

医学・医療の進歩ならびに理学療法士に求められる社会のニーズの変化に対応するために、自ら積極的に学び自己研鑽を継続することができる。

（６）地域社会に貢献する姿勢と意欲

地域社会に根ざしたリハビリテーションの実践を通して、地域社会に貢献する理学療法士としての役割を理解することができる。

【作業療法学専攻のディプロマ・ポリシー】

健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻は、所定の期間在学して卒業に必要な単位を修得した者に、学士（作業療法学）の学位を授与します。

（１）多様性の理解

作業療法士として関わる対象者やその家族、保健・医療・福祉関係者一人ひとりの背景や価値観を尊重することができる。

（２）コミュニケーション力

対象者やその家族、保健・医療・福祉関係者の多面的な理解に努め、作業療法士としての考えを適切に伝えることができる。

（３）専門知識と技術の活用

作業療法士として必要な医学的知識、心理学的知識、社会学的知識を基盤として、作業療法の専門知識と技術を活用し、作業療法を実践することができる。

（４）課題発見・解決能力

対象者と対象者を取り巻く環境の現状を分析し、課題を明らかにした上で、科学的根拠に基づき解決に向けて取り組むことができる。

（５）能動的に学び続ける力

医学・医療の進歩と作業療法士に求められる社会的ニーズの変化に対応するために、能動的に自己研鑽することができる。

(6) 地域社会に貢献する姿勢と意欲

地域社会におけるリハビリテーションの実践を活かして、作業療法士として地域社会に貢献する意欲をもつことができる。

教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

北海道千歳リハビリテーション大学は、本学の「建学の精神」、および「学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、その学習到達目標を達成するために、以下のようなカリキュラムの方針に則り編成します。

【理学療法学専攻のカリキュラムポリシー】

- (1) [初年次教育] 高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、導入基礎科目を配置する。
- (2) [教養教育] 人間、生命と健康、社会と環境、文化とコミュニケーションに対する理解を深めるために、教養科目を配置する。
- (3) [専門科目] 医学の基盤として人体の構造、機能、病態を理解する専門基礎科目と、本学の目指す障害予防リハビリテーションの学問的基盤を習得するため、「健康増進・障害予防」関連科目を配置する。
- (4) [専門科目] 理学療法の臨床および研究活動に必要な知識、評価と治療の技術、問題解決能力を修得するための専門科目を配置する。
- (5) [専門科目] 講義・実技・演習・ゼミナールの組み合わせから、理学療法士に必要な高度で専門的な内容へ段階的に進めるよう、教養科目・専門基礎科目・専門科目の履修順序を体系的に編成する。
- (6) [教育方法] 主体的な学習を促し、健康の維持・増進、予防も含めた疾病・障害に対する理学療法の統合的な実践力を身につけることができるように、教育課程を編成する。

【作業療法学専攻のカリキュラムポリシー】

- (1) [初年次教育] 高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、導入基礎科目を配置する。
- (2) [教養教育] 人間、生命と健康、社会と環境、文化とコミュニケーションに対する理解を深めるために、教養科目を配置する。
- (3) [専門科目] 医学の基盤として人体の構造、機能、病態を理解する専門基礎科目と、本学の目指す障害予防リハビリテーションの学問的基盤を習得するため、「健康増進・障害予防」関連科目を配置する。
- (4) [専門科目] 作業療法の臨床および研究活動に必要な知識、評価と治療の技術、問題解決能力を修得するための専門科目を配置する。
- (5) [専門科目] 高度で専門的な内容へ段階的に進めるよう、教養科目・専門基礎科目・専門科目の履修順序を講義・演習・実習を組み合わせる体系的に編成する。
- (6) [教育方法] 作業療法に関する知識、技術、問題解決能力、態度に関して、学生の主体的な学習を促すため、各科目に適した講義・演習・実習を編成する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

北海道千歳リハビリテーション大学は「医療専門職教育を通じて真の人間を育成」するために、以下の資質、能力、意欲を持った学生を受入れる。

- （１）他者の理解に努め、積極的に協働する意欲を持つ人（主体性・多様性・協働性）
- （２）論理的かつ柔軟な思考で課題解決に向けた取り組みができる人（思考力・判断力・表現力）
- （３）理学療法学・作業療法学を学ぶための基礎学力を有する人（知識・技能）
- （４）目標を達成するために継続的に努力することができる人（態度）

研究に関しては、北海道千歳リハビリテーション大学は、社会に奉仕し得る人間の育成と同時に、地域住民の健康増進と障がい予防する能力を有する理学療法士、作業療法士の育成を目的にあげている。このため、人の健康に関する研究の多様性と学際性を尊重し、大学が取り組む研究として、「障がい予防リハビリテーションを確立していくための創造的研究」の推進を行い、そこから得た知見を学術知にとどめることなく、知的資源として地域社会に還元する。

社会貢献に関しては、北海道千歳リハビリテーション大学は、実践力ある医療専門職の育成を通じて、我が国の保健医療の発展と地域住民の健康増進に貢献する。

このため、地域住民の健康に寄与する活動を推進するとともに、大学の資源を活用して、地域の活性化、地域医療の充実に貢献する。

また、学生、卒業生双方に有益である社会人（卒業生）の生涯学習支援を活性化させる。

2024 年度 事業計画

本学は、小規模大学の利点を活かし、ホームルームを定期的実施するなど学生と教員とのコミュニケーションを密にして学生に寄り添ったフォローアップをしている。また、高度専門教育に対応出来ない学生にサポートシステムとして考案した独自の「FrontierProgram」により成果が出て、不得意科目等を補完することができるような仕組みとした結果、休学生を除き全員が、進級できた。

FD・SD 研修の継続と共に、学生が安心・安全でキャンパスライフを送ることができるように、安全衛生巡視の継続と学生支援センターを中心に教職員と連携を強化することができた。また、本学のアドミッションポリシーに合った優秀な学生の確保をオープンキャンパス、出前授業、進路相談会、高校進路指導員との連携、本学独自の奨学金で入学生確保が昨年より増加し、退学率も下がりました。

千歳市や北広島市との連携協定や地域住民へ健康増進教室、こどもスマイル、ふまねっと教室の継続により、障がい予防等地域貢献の役割やリハビリテーション分野で、多様な視点をもつ研究者のネットワークを形成し、研究マネジメントによる支援を行う。

本学のガバナンス機能を充実強化に向け、学長のリーダーシップの下、学長を補佐する体制を副学長や教授会、各種委員会をはじめ、法人の理事会での意見を活用し、整備をした。

総合 IR 室で、データを集約・分析し、学長へ報告するとともに課題について運営協議会、教授会で共有している。

2025 年に向けシラバスの見直しとカリキュラム・ポリシーの作成が完成した。

2024 年度期間中にホームページの予算見直しとリニューアル、学校案内パンフレット等、SNS の活用で 2025 年 4 月入学生数が 108 名と 2024 年より入学生が増加した。

2025 年 2 月 24 日の国家試験の結果
 2025 年 3 月 21 日合格発表
 理学療法学専攻全員合格 100%
 作業療法学専攻 95.6%でした。

2. 令和 7 年度入学者選抜試験結果

1) 入学試験実施状況

12 回実施（総合型選抜 A、総合型選抜 B、総合型選抜 C、学校推薦型選抜 I・II、一般選抜前期・後期、大学入学共通テスト利用選抜前期・後期、社会人特別選抜、指定校推薦型選抜、特別推薦型選抜）

理学療法学専攻 受験者総数 134 名、合格者総数 132 名 倍率 1.0 倍

作業療法学専攻 受験者総数 36 名、合格者総数 36 名 倍率 1.0 倍

両専攻合計倍率 1.0 倍

2) 試験区分別 出願者数・受験者数・合格者数・入学者数

① 総合型選抜 A 令和 6 年 10 月 19 日(土)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	25※	10※	35※
出願者数	2	3	5
受験者数	2	3	5
合格者数	2	3	5
入学者数	2	3	5

※募集定員は、A・B・C の合計。

② 総合型選抜 B 試験日：令和 6 年 10 月 19 日(土)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	25※	10※	35※
出願者数	41	12	53
受験者数	41	12	53
合格者数	41	12	53
入学者数	40	12	52

※募集定員は、A・B・C の合計。

③ 総合型選抜 C 試験日：令和 6 年 12 月 14 日(土)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	25※	10※	35※
出願者数	1	0	1
受験者数	1	0	1
合格者数	1	0	1
入学者数	1	0	1

※募集定員は、A・B・C の合計。

④ 学校推薦型選抜Ⅰ 試験日：令和6年11月16日(土)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	33※	13※	46※
出願者数	1	0	1
受験者数	1	0	1
合格者数	1	0	1
入学者数	1	0	1

※募集定員は、指定校推薦型選抜との合計。

⑤ 学校推薦型選抜Ⅱ 試験日：令和6年12月14日(土)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	3	1	4
出願者数	0	0	0
受験者数	0	0	0
合格者数	0	0	0
入学者数	0	0	0

⑥ 一般選抜前期 試験日：令和7年2月4日(日)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	15	5	20
出願者数	20	4	24
受験者数	20	4	24
合格者数	19	4	23
入学者数	8	1	9

⑦ 一般選抜後期 試験日：令和7年3月4日(月)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	若干名	若干名	若干名
出願者数	2	0	2
受験者数	2	0	2
合格者数	1	0	1
入学者数	1	0	1

⑧ 大学入学共通テスト利用選抜 前期 試験日：(個別学力試験は課さない。)

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	4	1	5
出願者数	36	9	45
受験者数	36	9	45
合格者数	36	9	45
入学者数	4	0	4

⑨ 大学入学共通テスト利用選抜 後期 試験日：（個別学力試験は課さない。）

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	若干名	若干名	若干名
出願者数	6	0	6
受験者数	6	0	6
合格者数	6	0	6
入学者数	2	0	2

⑩ 社会人特別選抜 試験日：令和 7 年 3 月 4 日（火）

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	若干名	若干名	若干名
出願者数	0	0	0
受験者数	0	0	0
合格者数	0	0	0
入学者数	0	0	0

⑪ 指定校推薦型選抜 試験日：令和 6 年 11 月 16 日（土）

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	33※	13※	46※
出願者数	25	8	33
受験者数	25	8	33
合格者数	25	8	33
入学者数	25	8	33

※募集定員は、学校推薦型選抜 I 期との合計。

⑫ 特別推薦型選抜 試験日：令和 7 年 3 月 4 日（火）

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	若干名	若干名	若干名
出願者数	0	0	0
受験者数	0	0	0
合格者数	0	0	0
入学者数	0	0	0

⑬ 全体 令和 7 年 3 月 31 日現在

	理学療法学専攻	作業療法学専攻	計
募集定員	80	30	110
出願者数	134	36	170
受験者数	134	36	170
合格者数	132	36	168
入学者数	84	24	108

3. その他

- 1) 令和2年4月1日施行の私立学校法の一部改正を受けて、大学の中期目標、中期計画、事業計画（年度計画）を作成し、大学教授会及び学校法人淳心学園理事会で承認されている。
- 2) 令和2年10月にWEB形式で実施された大学設置・学校法人審議会、大学設置分科会による「令和2年度設置計画履行状況等調査面接調査」を経て、令和3年3月26日(金)に文部科学省のHPに公表され、報道機関に情報提供された「令和2年度設置計画履行状況等調査の結果」において、北海道千歳リハビリテーション大学は、指摘事項（法令違反、是正事項、改善事項）は付されなかった。
- 3) 令和3年11月にWEB形式で実施されたリハビリテーション教育評価機構による「リハビリテーション教育評価認定審査」を受審し、令和3年3月31日付で理学療法学専攻及び作業療法学専攻ともに基準を満たしているとして認定された。また、同時に受審した世界作業療法士連盟（WFOT）の教育水準等認定審査についても、本学はWFOT認定校として登録された。

Ⅲ. 札幌わかくさ幼稚園

1. 設置の目的

当園では、ゆったりした時間の流れの中で五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚）を総動員した活動により脳の活性化を促すことを大切にしている。

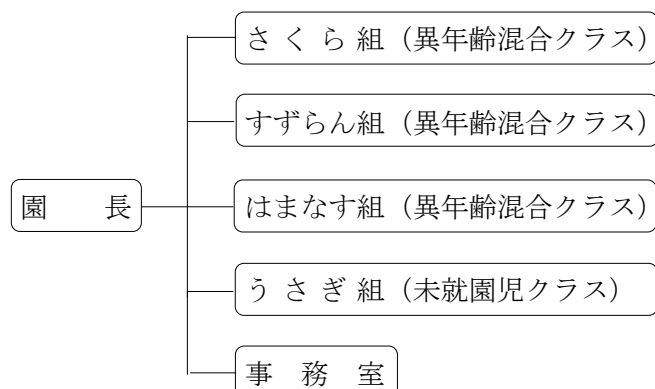
そして保育の基本を、

- (1) その子に必要な運動量と、夜に熟睡すること
- (2) 五感を総動員する体験をすること
- (3) 人間関係の基本を学ぶこと
- (4) 情操を育てること
- (5) 自己肯定・自己期待感を育てること

に置いている。

こうした取り組みを通じて、生理的・心理的機能を育成し、遊びの本質や機能を十分に発達させることで、幼児期に続くそれぞれの成長過程－児童期や青年期－においても意欲的な活動ができる人間に成長していくことが期待できる。

2. 基本となる組織



3. 中期的な計画及び令和6年度事業計画の進捗・達成状況

札幌わかくさ幼稚園では、設置目的及び教育目標を達成するために、園長以下15名の教職員（令和6年5月1日現在。常勤教諭8名、非常勤教諭2名、常勤事務・技術職員3名、非常勤職員2名）が協力して教育及び園務に当たった。

以下に、中期計画・年度計画に沿った内容で一年間の活動を振り返る。

(1) 令和6年度の主な事業の概要及び進捗・達成状況

1. 教育環境についての具体的な改善に関する目標達成のための措置

①園舎内環境整備

・猛暑による熱中症対策が急務として各保育室・ホール・職員室・園長室のエアコンの設置が完了した。未就園児教室やPTA活動などで使用する部屋の設置は完了していないため、今

後計画的に実施していきたい。

- ・引き続き、園児が居心地のよい環境にするため、修繕できるものはなるべく修理し、無駄のないように進めていく所存である。

②安全確保のための改善

- ・避難訓練は警察官による評価や指導を受けながら不審者が現れた際の避難方法や、洪水発生時の訓練を含め6回実施した。今後とも非常時の実技訓練、役割分担の確認等を徹底させていきたい。

- ・衛生面では、引き続き感染症対策のため、園児への小まめな手洗いを指導し、園内の消毒・除菌・換気等を行った。手洗いうがいなどの基本的な感染症対策が園児に身についていたこともあり、インフルエンザなどの感染症が蔓延することはなく、休園措置が必要になる事態は避けることができた。

2. 子ども子育て支援制度に関する目標

(1) 共同的な遊びと学びの充実に関する目標達成のための措置

① 幼児教育と小学校入学後の「学び」に連続性を持たせる観点から幼小接続教育に力を入れており、市立の山鼻南小学校、南小学校との交流計画を立て、今年度は新たに近隣の認定こども園との合同交流会を計画していたが、各園の行事の関係で合同交流は叶わなかった。しかし幼保小接続会議では小学校や認定こども園の職員同士の交流が持てたことで意見交換を行うことができた。来年度は、同じ就学先になる近隣の園との交流が叶うように期待したい。

② 隣接する老人福祉施設との交流計画は、前年度は1回の交流にとどまっていたが、施設側からの強い要望をうけ、2回の交流機会を設けることができた。敬老の日に合わせて園児から手作りのプレゼントを渡したり、クリスマス会の中では園児が歌や踊りを披露するなど施設側からも大変好評をいただき、今後も継続的に実施する計画を進めているところである。世代を超えた交流を通じて、お年寄りへの尊敬の心、他者への思いやりやお互いを慈しむ心を育みたいと考えている。

③ グローバルな世界へと広がりを見せる環境になりつつある現状を踏まえ日常的に英語に親しむ環境づくりとして、令和元年から取り組んだ英語教育は、令和6年度も充実した内容で行うことができた。

④ 未就園児教室は、全16回実施することができ、幼稚園の特色でもある園バスを利用しておでかけ活動や料理活動などを取り入れ、専任の指導者のもとカリキュラムを作成し実施している。未就園児教室は、翌年度の園児獲得にも関連する重要な取り組みであるが、保護者からは「家庭でなかなかできない活動を取り入れてくれることで我が子の新しい発見があり、嬉しい」等の声をいただくことが多い。今後も広報活動にさらに力を入れて行きたいと考えている。

⑤ 園活動を充実させる取り組みとして、札幌市内のさけ科学館や防災センター等の見学学習を行った。また、年長児のお泊り会のお出かけ先として青少年科学館を検討していたが、日程が合わずサンピアザ水族館へ変更した。今年度のお出かけは、熊の影響を大きく受けることなく、十分に園外活動を行うことができた。単純に遊具で遊ぶだけではなく、遊具のない原っぱなどの開放的な空間で過ごす時間を作ることで昆虫探しに夢中になる姿や、四季折々の植物の観察などに目を向ける時間を意識的に作るよう年間のお出かけ計画を作成している。

その他の取り組みでは、読み聞かせ、観劇、表現活動（描写表現）等の情操教育も活発に行った。

3. 教職員の資質向上について

(1) 働き方改革

令和5年度より保護者がスマートフォンで園バスの位置情報が確認できる園バスGPS機能を導入した。保護者がすぐに園バスの位置情報を確認できることで、交通渋滞で遅延が生じた場合も各家庭に連絡をこまめに行う職員の手間を省くことに繋がった。令和6年度も保護者と教職員のスムーズな連絡手段を意識しながらすすめてきた。

(2) 施設機能強化推進

1-②で触れたが、火災・地震等の災害に備えて、教職員の防災教育を行い、災害発生時の安全かつ迅速な避難誘導体制等、総合的な防災対策を推進した。

具体的には、安全マニュアルを随時見直し更新すること、緊急時対応の共通理解、避難訓練反省会を通して、危機管理の強化を図った。

(3) 評価・検証

当園の評価システムは、教職員による内部評価と外部関係者による外部評価の2つのシステムによってなされる。

評価の工程は、はじめに、評価に従って教職員が各自の評価を行った後、全職員で各評価の検証を行い、その評価結果を外部評価委員に見ていただき、評価及び意見を頂くという手順で進めている。

《外部（施設関係者）評価委員》

札幌市立南小学校校長、藻岩下まちづくりセンター所長、札幌わかき幼稚園PTA会長、
淳心学園保護者評議2名 計5名

(4) 教育課程の見直し・充実

① 幼小接続教育については、教員双方の情報交流は行っており、今後とも、幼小接続教育の充実を目指し、教育課程（カリキュラム）作成、教員同士の研修・研究会の開催等、連携校と協働した取り組みを目指したい。小学校のカリキュラムの関係や小学校教職員の協力が必要なため現在アプローチを行っている所である。

② 札幌市南区は自然環境に恵まれており、環境資源を活用した取り組みを行っているが、熊の影響を少なからず受けているのが現状である。今年度は熊の影響が前年度に比べると少なかったが、以前のように手のくわえられていない自然に近い広場へ出向くことは難しい。自然環境を上手く利用し、かつ安全な場所を調べながら今後も本園で大事にしている活動を取り入れていきたい。

③ 本園の教育は自然環境を生かすことを基本としている。毎月行う職員研修の中でわかきの教育の基本、取り扱う教材・教具の理解、特別支援教育の理解等を中心に研修を行った。今後とも研修を積み重ね、優れた他園での事例研究などを学びわかきの教育充実を図って行く。

(5) 教職員の園内研修は、前述のわかきの教育、園児の健康管理、危機管理等多岐にわたって、毎月テーマを決めて実施した。

また、札幌市私立幼稚園連合会主催等の園外研修は、職員が積極的に研修に参加することが出来た。

参加した園外研修（開催順）

（R6.4月～R7.3月まで）

日付	研修名	会場	受講者
R6/5/20	札幌市私立幼稚園連合会開催 設置者・園長研修会	札幌ガーデンパ レス	関 亜美
R6/6/12	第1回 南区幼保小連携推進協議会	藻岩南小学校	関 亜美 三澤 知香
R6/7/3	令和6年度 私学共済事務担当者連絡会	札幌ガーデンパ レス	関 亜美
R6/7/18	幼児教育センター 専門研修 〈公開保育〉特別な教育的支援を必要 とする幼児の指導	かつこう幼稚園	駒澤 美紀
R6/7/19	幼児教育センター 〈講義・演習〉食育～幼児教育におけ る実践～	動画配信	三澤 知香 高橋 真慧 阿部 倖子 長内香菜美 駒澤 美紀
R6/7/19	幼児教育センター 幼児教育ミドルリーダー研修〈講義〉 幼児教育施設における危機管理	動画配信	高橋 真慧
R6/7/30	令和6年度特別な教育的支援を必要 とする幼児の支援担当者研修 幼稚 園・認定こども園における支援の実際	アスティ 45	駒澤 美紀 長内香菜美
R6/7/31	公益社団法人北海道私立幼稚園協会 令和6年度第1回 経営・リーダー研 修会	ニューオータニ イン札幌	園長 関 亜美
R6/8/1	第66回北海道私立幼稚園教育研究 大会 第36回全日私幼連北海道地 区私立幼稚園教育研究大会	札幌ガーデンパ レス	園長 関 亜美
R6/8/2	幼児教育センター 専門研修 〈講義・演習〉「遊び」は「学び」～ 幼児期における教育とは～	ちえりあ	高橋 真慧 阿部 倖子 長内 香菜美
R6/8/7	幼児教育センター 幼児教育ミドルリーダー研修 〈講義〉幼児の健康管理	ちえりあ	三澤 知香
R6/8/7	幼児教育センター 専門研修 〈講義・協議〉幼児教育から小学校教 育への円滑な接続のポイント	ちえりあ	三澤 知香
R6/8/8	令和6年度札幌市新規採用教員研修 【2年次研修】理論・実践研修3 保育の展開を考えよう	ちえりあ	駒澤 美紀
R6/8/8	令和6年度札幌市新規採用教員研修 【3年次研修】理論・実践研修4 子どもを取り巻く環境を学ぼう！	ちえりあ	高橋 真慧 阿部 倖子
R6/8/27	第1回南区研修会 「運動遊び・運動補助の仕方」	澄川幼稚園	三澤 知香 高橋 真慧

R6/8/30	幼児教育センター 保育実践研修 〈講義・実技〉保育に生かせる造形遊び	ちえりあ	長内 香菜美
R6/9/11	令和6年度特別な教育的支援を必要とする幼児の支援担当者研修 障がいのある幼児をもつ保護者支援	動画配信	駒澤 美紀 長内香菜美
R6/9/27	第66回北海道私立幼稚園教育研究大会 札幌ブロック大会 第55回札幌市私立幼稚園教育研究大会 公開保育（各自）	各幼稚園	関→さゆり幼稚園 若狹→つぼみ幼稚園 永森・長内→つきさむ幼稚園 三澤→さわらび幼稚園 高橋→東橋いちい認定こども園 阿部→札幌円山幼稚園 駒澤→認定）聖ミカエル幼稚園 小部→まこまない明星幼稚園
R6/9/28	第66回北海道私立幼稚園教育研究大会 札幌ブロック大会 第55回札幌市私立幼稚園教育研究大会 全大会	カナモトホール	全員参加
R6/10/11	第2回南区幼保小連携推進協議会	藻岩南小学校	三澤 知香
R6/10/16	令和6年度特別な教育的支援を必要とする幼児の支援担当者研修 幼稚園・認定こども園における特別支援教室	ちえりあ	駒澤 美紀 長内香菜美
R6/10/29	第2回南区研修会	澄川幼稚園	三澤 知香
R6/10/28 ～10/29	全日本私立幼稚園連合会開催 第39回設置者・園長全国研修大会（奈良大会）	ホテル日航奈良	関 亜美
R6/10/30	令和6年度 労務研修会 （研修スタンプ発行対象。 文科省マネジメント分野該当）	札幌市教育文化 会館3階研修室 305	若狹 実香 鶴岡 美樹
R6/11/8	令和6年度私学経営実務研修会	札幌ガーデンパ レス	関 亜美 鶴岡 美樹
R6/12/11	令和6年度特別な教育的支援を必要とする幼児の支援担当者研修 幼小を接続する特別支援教育	動画配信	駒澤 美紀 長内香菜美
R6/12/17	教育・保育施設における誤嚥事故防止に係る全体研修会	共済ホール	若狹 実香
R7/1/7	令和6年度札幌市新規採用教員研修 【2年次研修】理論・実践研修3 保育を語ろう！	ちえりあ	駒澤 美紀

R7/1/10	幼児教育センター 保育実践研修 〈講義・実技〉保育に生かせる運動遊 び②～子どもと考える運動遊び～	ちえりあ	三澤 知香 駒澤 美紀
R7/1/23 .24	令和6年度私学経営実務研修会	2日間 札幌ガ ーデンパレス	関 亜美（23のみ） 鶴岡 美樹
R7/1/29 .30	私学共済事務担当者研修会	2日間 札幌ガ ーデンパレス	関 亜美 鶴岡 美樹
R7/1/29	令和6年度 第2回乳幼児研修会	かでる 2.7	阿部 倅子
R7/2/4	第3回南区研修会 「ピアノを使ったリズム遊び」	澄川幼稚園	三澤 知香 高橋 真慧 長内 香菜美
R7/3/3	令和6年度設置者・園長研修会	札幌ガーデンパ レス	関 亜美

4. 園児募集活動の強化

令和6年5月の時点では令和6年度の園児数は81名であったが、兄弟関係の転勤が重なり、最終的には令和7年3月に利用定員90名に対し77名となった。

今後はさらに少子化が進むことから、未就園児教室の充実と、新入園希望の保護者に対して、本園の教育目標・方針や、自主性を育む教育、自然体験及びわかくさの教育を始めとする本園の教育の特色について、入園説明会及び入園案内等で詳しく説明を行い、併せて園児募集のポスターによる広報活動他、HPのブログ等を通した園の情報発信に力を入れ、園児募集活動を強化したい。

以上のとおり、本園は、毎年、園児たちが元気いっぱいに育つ様に種々取り組んでいるが、そのためには我々教職員の努力だけでは到底できるものではなく、保護者の方々の全面的な協力が無くしてはできないことである。幸いにして保護者の方々からは、園の行事の時はもとより、普段からしっかりとご協力やご理解をいただき、園の教育目標が実現できていると、考えている。

今後とも、本園が五感を使ったわかくさの教育を進め、より一層、質の高い幼児教育、幼稚園教育を提供し続けるために、皆様のご協力を得ながら、さらなる努力を続けて行く所存である。

第3部 財務の概要

I 財産目録

令和7年3月31日現在

1	資 産 総 額	2,151,708,360 円
	① 基 本 財 産	1,356,419,841 円
	② 運 用 財 産	795,288,519 円
2	負 債 総 額	110,724,378 円
3	正 味 財 産	2,040,983,982 円

科 目	数 量	金 額
1 資 産		
① 基 本 財 産		1,356,419,841 円
(1) 土 地	15,084.54 m ²	129,271,938 円
(2) 建 物	10,117.57 m ²	1,072,792,316 円
(3) 構 築 物		9,700,841 円
(4) 教育研究用機器備品	2,065 点	46,825,581 円
(5) 管 理 用 機 器 備 品	8 点	998,981 円
(6) 図 書	12,428 冊	83,137,945 円
(7) 車 両	4 台	7,755,396 円
(8) 建設仮勘定		0 円
(9) そ の 他		5,936,843 円
② 運 用 財 産		795,288,519 円
(1) 現・預 金		773,630,351 円
(2) 未 収 入 金		12,280,785 円
(3) 貯 蔵 品		89,500 円
(4) 短期貸付金		426,000 円
(5) 前 払 金		8,861,883 円
資 産 総 額		2,151,708,360 円
2 負 債		
① 固 定 負 債		5,640,800 円
(1) 長期未払金		5,640,800 円
② 流 動 負 債		105,083,578 円
(1) 未 払 金		15,840,812 円
(2) 前 受 金		87,337,000 円
(3) 預 り 金		1,905,766 円
負 債 総 額		110,724,378 円
3 正 味 財 産		2,040,983,982 円

Ⅱ 決算の概要

1 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

科 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	592,611	622,047	606,821	559,394	528,800
	手数料収入	4,840	8,301	6,894	6,015	6,583
	寄付金収入	800	1,840	1,690	1,240	1,140
	補助金収入	117,057	173,858	193,505	203,249	187,941
	資産売却収入	0	0	0	60,380	0
	付随事業・収益事業収入	3,157	3,603	3,649	3,060	5,204
	受取利息・配当金収入	0	0	0	0	3
	雑収入	14,921	19,616	11,821	18,742	3,080
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	前受金収入	124,371	91,931	89,310	85,498	87,337
	その他の収入	7,056	8,379	13,743	10,154	17,837
	資金収入調整勘定	△ 190,854	△ 137,566	△ 101,632	△ 107,518	△ 95,546
	前年度繰越支払資金	689,469	656,654	702,563	761,624	785,925
	収入の部合計	1,363,429	1,448,663	1,528,363	1,601,837	1,528,304
支出の部	人件費支出	446,734	429,465	437,659	449,934	439,976
	教育研究経費支出	168,305	176,120	213,187	222,011	179,423
	管理経費支出	77,221	102,264	104,133	102,957	97,377
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
	施設関係支出	0	594	2,090	26,264	24,310
	設備関係支出	24,398	28,114	18,149	7,694	4,468
	資産運用支出	0	0	0	0	0
	その他の支出	21,673	36,954	19,789	24,993	27,512
	資金支出調整勘定	△ 31,556	△ 27,411	△ 28,269	△ 17,941	△ 18,393
	翌年度繰越支払資金	656,654	702,563	761,624	785,925	773,630
	支出の部合計	1,363,429	1,448,663	1,528,363	1,601,837	1,528,304

2 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

科 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動による資金収支	収入					
	学生生徒等納付金収入	592,611	622,047	606,821	559,394	528,800
	手数料収入	4,840	8,301	6,894	6,015	6,583
	特別寄付金収入	800	1,500	1,650	1,200	1,100
	一般寄付金収入	0	340	40	40	40
	経常費等補助金収入	117,057	168,754	193,505	194,837	187,941
	付随事業収入	3,157	3,603	3,649	3,060	5,204
	雑収入	14,921	19,616	11,821	18,742	3,080
	教育活動資金収入計	733,387	824,160	824,379	783,288	732,748
	支出					
	人件費支出	446,734	429,465	437,659	449,934	439,976
	教育研究経費支出	168,305	176,120	213,187	222,011	179,423
	管理経費支出	77,221	102,264	104,133	102,957	97,377
	教育活動資金支出計	692,260	707,849	754,980	774,902	716,776
	差 引	41,127	116,312	69,400	8,385	15,972
	調整勘定等	△ 43,187	△ 49,057	△ 5,344	△ 14,824	5,011
	教育活動資金収支差額	△ 2,061	67,255	64,055	△ 6,439	20,983
に施設整備等資金等収支活動	収入					
	施設設備補助金収入	0	5,104	0	8,412	0
	施設設備売却収入	0	0	0	60,380	0
	施設整備等活動資金収入計	0	5,104	0	68,792	0
	支出					
	施設関係支出	0	594	2,090	26,264	24,310
	設備関係支出	24,398	28,114	18,149	7,694	4,468
	施設設備等活動資金支出計	24,398	28,708	20,239	33,958	28,778
	差 引	△ 24,398	△ 23,604	△ 20,239	34,834	△ 28,778
	調整勘定等	△ 5,611	356	14,817	△ 4,891	△ 4,891
	施設設備等活動資金収支差額	△ 30,009	△ 23,249	△ 5,423	29,944	△ 33,669
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 32,069	44,007	58,633	23,504	△ 12,686
その他の活動による資金収支	収入					
	「貸付金回収」等収入小計	1,733	2,359	1,271	1,001	782
	受取利息・配当金収入	0	0	0	0	3
	その他の活動資金収入計	1,733	2,359	1,271	1,001	785
	支出					
	「貸付金支払」等支出小計	2,663	1,084	720	26	360
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	その他の活動資金支出計	2,663	1,084	720	26	360
	差 引	△ 930	1,274	551	975	425
	調整勘定等	184	628	△ 124	△ 178	△ 34
	その他の活動資金収支差額	△ 746	1,902	428	797	391
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 32,815	45,909	59,061	24,302	△ 12,295
前年度繰越支払資金		689,469	656,654	702,563	761,624	785,925
翌年度繰越支払資金		656,654	702,563	761,624	785,925	773,630

3 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

科 目			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	592,611	622,047	606,821	559,394	528,800
		手数料	4,840	8,301	6,894	6,015	6,583
		寄付金	800	1,840	1,690	1,240	1,140
		経常費等補助金	117,057	168,754	193,505	194,837	187,941
		付随事業収入	3,157	3,603	3,649	3,060	5,204
		雑収入	14,921	19,616	11,821	20,207	3,080
		教育活動収入計	733,387	824,160	824,379	784,752	732,748
	支出の部	人件費	446,734	429,465	437,659	449,934	439,976
		教育研究経費	254,281	258,003	283,713	289,604	247,635
		管理経費	83,571	111,391	112,767	111,483	105,949
		徴収不能額等	890	0	1,300	0	650
		教育活動支出計	785,476	798,858	835,439	851,021	794,209
教育活動収支差額		△ 52,089	25,302	△ 11,060	△ 66,269	△ 61,461	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	0	0	0	0	3
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	0	0	0	0	3
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		0	0	0	0	3
経常収支差額		△ 52,089	25,302	△ 11,060	△ 66,269	△ 61,458	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	32,526	0
		その他の特別収入	264	5,402	1,622	11,194	0
		特別収入計	264	5,402	1,622	43,720	0
	支出の部	資産処分差額	853	0	3,035	2,495	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	853	0	3,035	2,495	0
	特別収支差額		△ 589	5,402	△ 1,414	41,225	0
基本金組入前当年度収支差額		△ 52,679	30,704	△ 12,474	△ 25,044	△ 61,458	
基本金組入額合計		△ 7,084	△ 29,521	△ 244	△ 10,488	△ 33,669	
当年度収支差額		△ 59,763	1,183	△ 12,718	△ 35,533	△ 95,127	
前年度繰越収支差額		△ 611,043	△ 670,807	△ 669,624	△ 682,342	△ 652,281	
基本金取崩額		0	0	0	65,594	0	
翌年度繰越収支差額		△ 670,807	△ 669,624	△ 682,342	△ 652,281	△ 747,408	
(参考)							
事業活動収入計		733,651	829,562	826,001	828,472	732,751	
事業活動支出計		786,330	798,858	838,475	853,517	794,209	

4 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:千円)

科 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産の部	固定資産	1,599,117	1,536,021	1,475,264	1,404,661	1,356,420
	有形固定資産	1,589,958	1,528,614	1,468,248	1,398,509	1,350,483
	土 地	137,797	137,797	137,797	129,272	129,272
	建 物	1,263,911	1,206,406	1,151,166	1,099,041	1,072,792
	構 築 物	22,716	19,951	16,534	13,117	9,701
	教育研究用機器備品	73,808	61,890	64,071	56,644	46,826
	管理用機器備品	1,524	1,459	1,306	1,152	999
	図 書	75,608	77,472	79,029	81,282	83,138
	車 両	14,593	23,640	18,345	13,050	7,755
	建設仮勘定	0	0	0	4,950	0
	特定資産	0	0	0	0	0
	その他の固定資産	9,159	7,407	7,016	6,152	5,937
	電話加入権	392	392	392	392	392
	長期貸付金	6,252	5,180	4,789	3,925	3,710
	敷 金	1,692	1,692	1,692	1,692	1,692
	ソフトウェア	680	0	0	0	0
	保 証 金	20	20	20	20	20
	預 託 金	123	123	123	123	123
	流動資産	674,063	726,281	779,198	814,195	795,289
	現 金 預 金	656,654	702,563	761,624	785,925	773,630
	未 収 入 金	7,778	14,952	10,882	19,937	12,281
	貯 蔵 品	6	26	58	68	90
	短期貸付金	1,378	812	677	540	426
	前 払 金	8,248	7,928	5,958	7,725	8,862
	立 替 金	0	0	0	0	0
	資産の部合計	2,273,180	2,262,302	2,254,462	2,218,856	2,151,708
負債の部	固定負債	7,297	14,191	18,053	10,531	5,641
	長期未払金	5,832	12,726	16,588	10,531	5,641
	長期預り金	1,465	1,465	1,465	0	0
	流動負債	156,627	108,151	108,922	105,883	105,084
	短期借入金	0	0	0	0	0
	未 払 金	30,079	14,407	17,774	18,572	15,841
	前 受 金	124,371	91,931	89,310	85,498	87,337
	預 り 金	2,177	1,813	1,838	1,813	1,906
	負債の部合計	163,924	122,342	126,975	116,414	110,724
純資産の部	基 本 金	2,780,063	2,809,584	2,809,828	2,754,723	2,788,392
	第1号 基本金	2,726,063	2,755,584	2,755,828	2,700,723	2,734,392
	第4号 基本金	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
	繰越収支差額	△ 670,807	△ 669,624	△ 682,342	△ 652,281	△ 747,408
	翌年度繰越収支差額	△ 670,807	△ 669,624	△ 682,342	△ 652,281	△ 747,408
	純資産の部合計	2,109,256	2,139,960	2,127,487	2,102,442	2,040,984
負債及び純資産の部合計		2,273,180	2,262,302	2,254,462	2,218,856	2,151,708

5 財務比率の経年比較

分類	比 率	算 式	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業活動収支計算書	1 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.9%	52.1%	53.1%	57.3%	60.0%
	2 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	75.4%	69.0%	72.1%	80.4%	83.2%
	3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	34.7%	31.3%	34.4%	36.9%	33.8%
	4 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	11.4%	13.5%	13.7%	14.2%	14.5%
	5 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	6 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-7.2%	3.7%	-1.5%	-3.0%	-8.4%
	7 基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	106.2%	93.0%	101.5%	101.7%	103.6%
	8 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	80.8%	75.5%	73.6%	71.3%	72.2%
	9 寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
	10 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	16.0%	20.3%	23.4%	23.5%	25.6%
	11 基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	-1.0%	-3.6%	0.0%	-1.3%	-4.6%
	12 減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.7%	11.4%	9.5%	8.9%	9.6%
	13 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-7.1%	3.1%	-1.3%	-8.4%	-8.4%
	14 教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-7.1%	3.1%	-1.3%	-8.4%	-8.4%
貸借対照表	15 固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	70.3%	67.9%	65.4%	63.3%	63.0%
	16 流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	29.7%	32.1%	34.6%	36.7%	37.0%
	17 固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債 + 純資産}}$	0.3%	0.6%	0.8%	0.5%	0.3%
	18 流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債 + 純資産}}$	6.9%	4.8%	4.8%	4.8%	4.9%
	19 内部留保率	$\frac{\text{運用資産 - 総負債}}{\text{総資産}}$	21.7%	25.6%	28.2%	30.2%	30.8%
	20 純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債 + 純資産}}$	92.8%	94.6%	94.4%	94.8%	94.9%
	21 繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債 + 純資産}}$	-29.5%	-29.6%	-30.3%	-29.4%	-34.7%
	22 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	75.8%	71.8%	69.3%	66.8%	66.5%
	23 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	430.4%	671.5%	715.4%	769.0%	756.8%
	24 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	7.2%	5.4%	5.6%	5.2%	5.1%
	25 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	7.8%	5.7%	6.0%	5.5%	5.4%
	26 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	528.0%	764.2%	852.8%	919.2%	885.8%
	27 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.3%	99.6%	99.3%	99.4%	99.6%
	28 減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	45.8%	48.7%	51.1%	51.3%	54.9%

令和 7 年 5 月 9 日

学校法人 淳心学園

理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 淳心学園

常勤監事 佐藤 進一 

監事 名越 隆雄 

監査報告書

当学校法人の目的には、「この法人は、伝統と文化を尊び、教育基本法及び学校教育法に基づき知性と専門性を養う学校教育を行い、地域社会の発展に寄与する人間を育成することを目的とする」とあります。

私たちは、上記の目的に基づき運営されている当学校法人について、私立学校法第 37 条第 3 項、第 4 項及び学校法人淳心学園寄附行為第 18 条、第 2 項、第 3 項の規定に基づき、学校法人淳心学園の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）の業務並びに財産の状況について監査しました。

監査に当たり、私たちは、理事会及び評議員会に出席し、担当理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を監査点検するとともに、会計監査人と連携し、計算書類についてその正確性を検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人淳心学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく表示しており、業務及び財産に関する不正の行為、または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はない、と認めます。

以上

